



ニッポン・ニューマーケット「ヘラクレス」

平成 18 年 5 月 8 日

各 位

株式会社ブロードバンドタワー
 代表取締役社長 中村 高根
 (コード番号: 3776)
 (連絡先) 常務取締役 佐藤康夫
 03-5573-8181 (代)

通期連結業績予想および通期単体業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 8 月 23 日に公表した平成 19 年 6 月期 (平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日) の通期連結業績予想ならびに通期単体業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 19 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正等

(1) 通期 (平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A) (平成 18 年 8 月 23 日発表)	9,880	1,050	1,620
今回修正予想 (B)	8,510	640	1,400
増減額 (B - A)	△1,370	△410	△220
増減率 (%)	△13.9	△39.0	△13.6
(ご参考) 前期 (平成 18 年 6 月期) 実績	7,294	950	1,050

(2) 修正の理由

通期単体業績予想の修正に伴い、通期連結業績予想を修正いたします。

2. 19 年 6 月期通期単体業績予想数値の修正等

(1) 通期 (平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A) (平成 18 年 8 月 23 日発表)	9,480	1,040	1,610
今回修正予想 (B)	8,250	670	1,440
増減額 (B - A)	△1,230	△370	△170
増減率 (%)	△13.0	△35.6	△10.6
(ご参考) 前期 (平成 18 年 6 月期) 実績	7,223	1,016	1,114

(2) 修正の理由

主な要因と致しましては、プラットフォーム事業において関西サイト新設ならびに第2サイトの増床完了の遅延、内製化したホスティングサービスの市場投入の遅れにより、営業活動において当初見込んでいた案件の売上が当会計年度には発生しないことで計画未達となる予想です。一方、ストレージ製品を中心としたプロダクト販売については、当初計画を上回る売上推移を保っておりますが、上記の売上の不足をカバーするまでには至らず、プラットフォーム事業で売上高を当初計画より下回る予想です。メディアソリューション事業については、ネットシネマ事業に替わる新規事業として展開したWEBマーケティング事業で、市場環境において価格を含めた競争が激化したことで、当社のサービスの優位性の低下が要因となり、売上高が当初計画より大幅に下回ることとなりました。

これらの理由から、売上高は、8,250百万円となる見込みであります。経常利益につきましては、全社的なコスト削減により販売費および一般管理費の圧縮に努めたものの、新設サイトの開設に備えた原価の発生、ならびに利益率の高いホスティングサービスを中心とするソリューション事業の売上高の不足が大きく影響し、670百万円となる見込みであります。上記により、当期純利益については、1,440百万円となる見込みであります。

(3) 事業の現状と今後について

当会計年度は当社の事業体系においてスペースサービス（不動産型事業）からユーティリティコンピューティング（高付加価値型事業）へ転換する中で、Flex Hosting ならびに Collective Hosting 等の付加価値の高いサービス開発を行い、本格的な営業活動を開始いたしました。これらのサービスは豊富なメニューに加え、技術、価格面においても市場ニーズに合致しており、現在のところ順調な滑り出しを見せております。さらに、従来のサービスに比べ高い利益率を見込めることから、翌会計年度以降での利益貢献が期待できる見通しです。

またスペースサービスにつきましては、今後もデータセンター市場において旺盛な需要が見込まれており、当社といたしましてはこの需要に応えるべく、引き続き積極的な営業活動を推し進めてまいります。

一方メディアソリューション事業については、サービス体系の変更を含めた抜本的な事業再編を早期に実施する予定であります。

以上

(注) 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したものです。不確実性を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。